



## 【指数日足チャート】

### ▼ハンセン指数



### ▼上海総合指数



## 【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	20年末株価
NYダウ	34,200.67	164.68	0.48	1.18	11.74	30,606.48
NASDAQ	14,052.34	13.58	0.10	1.09	9.03	12,888.28
日経225	29,683.37	40.68	0.14	-0.28	8.16	27,444.17
上海総合	3,426.62	27.63	0.81	-0.70	-1.34	3,473.07
滬深300 (CSI300)	4,966.18	17.21	0.35	-1.37	-4.70	5,211.29
ハンセン	28,969.71	176.57	0.61	0.94	6.38	27,231.13
中国企業	11,027.51	121.62	1.12	0.46	2.69	10,738.40

## 【株式概況】

### 先週の動き:ハンセン指数は0.9%高と反発、上海総合指数は0.7%安

香港市場ではハンセン指数が週間で0.9%高と反発。総じて方向感に乏しい展開となった。米中対立の激化に対する懸念が重しとなる一方、米国が中国の為替操作国認定を見送ったことを好感。独禁法の運用を巡る悪材料出尽くし感からハイテク株を中心に買い戻される場面もあった。週末16日は本土相場の上昇を受けて反発した。本土市場では上海総合指数が週間で0.7%安と続落。貿易統計で輸出が市場予想を下回ったことなどが嫌気され、節目の3400ポイントを挟んで一進一退の展開が続いた。

### 今週の展望:香港市場はもみ合いか、四半期業績にらんだ個別物色中心の展開に

香港市場はもみ合いか。米長期金利の低下や好調なNY市場は支援材料となりそうだが、米中関係の悪化や中国政府によるプラットフォーム企業への締め付け強化への警戒感が引き続き相場の重しとなりそう。売買代金の減少で相場を動かすパワーも不足。引き続き企業の1-3月期決算をにらんだ個別物色中心の展開が予想される。本土市場も今週はもみ合いか。金融引き締めや米中対立激化への警戒感が相場の重しとなる可能性はあるが、上海総合指数は3400ポイント付近では底堅い値動きが予想される。

## 先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 瑞声科技 (02018)	46.60	16.94
2 アリババ集団 (09988)	235.60	8.07
3 安踏体育用品 (02020)	140.50	7.25
4 Link REIT (00823)	75.20	6.67
5 CNOOC (00883)	8.43	6.57
6 九龍倉置業地産 (01997)	46.15	6.34
7 申洲国際集団 (02313)	176.60	5.69
8 中国中信 (00267)	7.89	5.34
9 吉利汽車 (00175)	21.80	5.31
10 シンバック (00386)	4.27	5.17

▼騰落率下位	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 美团 (03690)	290.20	-7.58
2 HSBC (00005)	45.20	-2.90
3 万洲国際 (00288)	6.77	-2.17
4 サンス・チャイナ (01928)	36.30	-2.16
5 碧桂園 (02007)	9.70	-1.32
6 銀河娛樂 (00027)	69.00	-1.22
7 中国平安保険 (02318)	90.10	-1.21
8 ハンセン銀行 (00011)	151.90	-1.17
9 中国工商银行 (01398)	5.44	-1.09
10 バドワイザーAPAC (01876)	24.35	-1.02

## ▼今週の主なイベント

- 4月19日(月)
- 【中国】上海モーターショー開幕
- 4月20日(火)
- 【中国】最優遇貸出金利
- 4月22日(木)
- 【香港】失業率(1-3月)

## ▼今週の期待材料

- ◆NY市場でダウ平均やS&P500指数が過去最高値を更新、米10年債利回りも上昇が一服
- ◆5月のメーデー連休を前に観光・消費関連銘柄に注目が集まる公算、中国で航空券や旅行の予約が好調
- ◆企業の1-3月期決算の発表が本格化、A株企業の1-3月期決算は19日までに全体で188%増益

## ▼今週の懸念材料

- ◆日米首脳会談の共同声明での「台湾」明記に中国側が反発、米中関係のさらなる悪化に警戒感強まる公算
- ◆中国の1-3月の実質GDP成長率は前年同期比18.3%と過去最高、経済の正常化で金融引き締め懸念が浮上
- ◆中国政府がプラットフォーム企業に業務改善を命令、締め付け強化への警戒感がくすぶる公算

## 【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 粵海投資 (00270) : 1-3月期決算は物件販売の増加などで35%超増益の見通し
- ☆ ASMパシフィック (00522) : 20日に1-3月期決算を発表、市場予想は純利益15倍
- ☆ 味千中国 (00538) : 1-3月期のレストラン事業の売上が78%増加
- ☆ 中国恒大新能源汽车 (00708) : 19日開幕の上海モーターショーで新型EVを初出展
- ☆ チャイナ・ユニコム (00762) : 21日に1-3月期決算を発表、市場予想は14%増益
- ☆ 中国南方航空 (01055) : 3月の旅客数が3倍に拡大、メーデー連休の予約も好調
- ☆ 小米集団 (01810) : 16日に初の折り畳みスマホを発売、開始1分で4億元を売り上げ
- ☆ 中国広核電力 (01816) : 22日に1-3月期決算を発表、最大55%増益の見通し
- ☆ 紫金鉱業集団 (02899) : 1-3月期決算は純利益2.4倍、会社予想レンジの上限
- ★ 申洲国際集団 (02313) : カンボジア生産拠点がロックダウンで生産を一時停止

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。